

## 赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、環境調査と並行し、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。  
 検鏡の結果、魚類を死亡させる恐れのあるプランクトンは確認されませんでした。  
 また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大で0.32細胞/ml、ギムノディニウムカテナータムが0.68細胞/ml確認されました。  
 本日は、調査地点にてケイ藻類が多く確認されました。他県の観察結果によるとケイ藻類の増加が見られた後に、有害赤潮プランクトンの増殖が確認された例もありますので、引き続き注意してください。  
 今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	アレキサンドリウム属	ギムノディニウム カテナータム
<b>ヒロウラ (別図①)</b> 採水時間 9:54 透明度 -m	10.0	19.1	34.7	6.3	0	0
<b>栄喜奥 (別図②)</b> 採水時間 10:08 透明度 -m	2.0	19.6	34.6	6.1	0	0.1
<b>青瀬山 (別図③)</b> 採水時間 10:15 透明度 -m	2.0	19.6	34.3	6.3	0.32	0.68
<b>シラハエ (別図④)</b> 採水時間 10:37 透明度 8.0m	5.0	19.3	34.6	7.2	0	0
<b>宿毛湾中央 (別図⑬)</b> 採水時間 11:05 透明度 -m	10.0	18.9	34.6	6.1	0	0
<b>藻津定点 (別図⑨)</b> 採水時間 11:12 透明度 -m	2.0	19.4	34.3	7.6	0	0
<b>片島</b> 採水時間 11:29 透明度 -m	2.0	19.6	34.3	6.2	0	0